

平野地区

公民館だより

昭和56年

3 / 16

発行 平野地区公民館

教育はただ少青年期の者のためだけのものではなく、幼児から老壮年期までのすべての年齢層にわたり、学校、家庭、企業、地域など社会のさまざまな場を通して行われ、単に上から授けられるだけのものではなく、下から望んで身につけるものとする、いわゆる生涯教育、生涯学習の時代が新たに開けつつあるようである。全国の公民館は、こうした新たな時代の風潮に対処して、そのすべての扉を開放してこの新たな風を受け入れようとしても、いよいよ高まってゆく国民の学習意欲に応じ切れなくなりつつあるのではなからうか。地域住民の深い御理解と御協力を切に願うものである。

寺中作雄 談より



56年 平野地区生活文化展から(2月14日・15日)

55年度のあらまし

ヨヨ! お父ちゃんも ドッキリ!!

着付教室 4月 6. 11. 20. 25. 27日



やっぱり日本の女性は和服にか
ぎるネ。

だいたいの「つくり」が神代の
時代からちっとも変っちゃいない
んだから。

妻の和服姿を見て離婚を思いと
どまった…… という記録も日本書
記には……………ない。

お父さん、お母さんを大切にしよう!

平野地区少年教室

君達を「つくり出す」までのク
ルシミ、やがてはわかる日がくる
だろう。きっと。

やがては君達の時代が必ずくる。
その時のために、おおいに勉強し、
遊び、そして少しでも多くの経験
をすることだ!

そして、素晴らしい日本をつく
ってもらいたい。

5月24日・6月15日・7月24日
9月24日・10月8日・12月21日
3月8日



花のいのちは短かいけれど

花木愛好会 さつき展

6月7日・8日

第2回目のさつき展、延べ300人もの地区内外の方が鑑賞、会場内は甘いさつきのにおいと、深いため息とにつつまれていた。

現在、平野地区には約70人の花木愛好会会員がいますが、非常に若い方も入会しておられ、これからも素晴らしいさつきや盆栽を拝見できる事と思います。

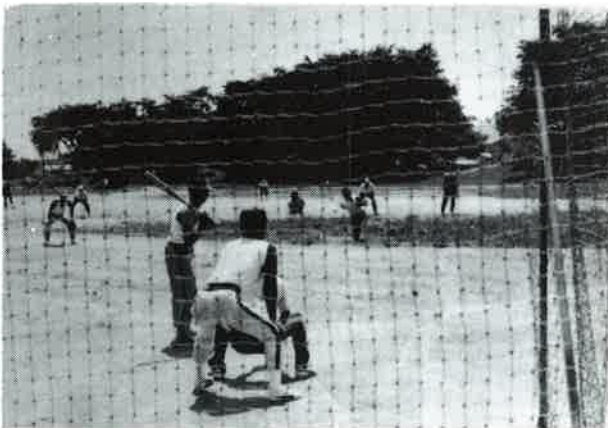
乞う御期待……………1会員



大久保チーム 1・2位を独占

分館対抗ソフトボール大会

7月20日



ザルだって、水はしたたるもののメダカは中に残る。なのに、アノチームはなんだ！ボールの行方さえも見失うとは。でも、それでいいのだ。この大会の真の目的は、スポーツによる体力づくりと地区民の親睦を図る。ちゃんとしていかにそううたわれているのだから……………。

これぞ生涯教育の最たるものダ！

平野地区高令者教室

5月27日・10月9日

11月29日・3月20日

明治、大正、昭和の三代を堂々と生き抜いてこられた自信が後ろ姿から読み取れるのは、筆者があまりにも卓越した眼の持ち主だからなのだろうか???

とまれ、やがて日本には大学卒業の御方が急増する事は明白だ。その時の講師の事を考えると、夜も……………。



花を見て怒る人はいないと言う

ひまわりの会 毎月2回



花鳥風月なんとやら、人は皆、花の咲くを待ちこがれ、鳥の飛ぶを見てはうらやみそして風の吹くさわやかさに心うたれ、月を見ては感傷にひたる。

犬も、月にうさぎのいない事ははっきりしてからは何かしら……。それぞれの花の前に作者が居るべきだって とんでもございませぬ。花もコワレル。

17文字で世相を斬る

野川吟社(川柳会) 隔月1回 年6回

ただ今作品募集中 〆切 3月31日

題 「燃える」・「届く」

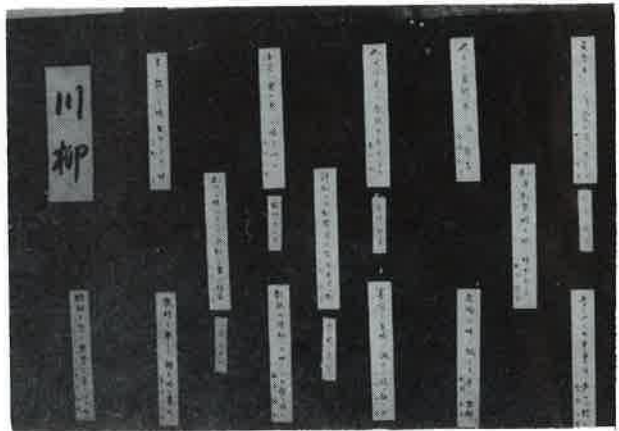
川柳、短歌、俳句等程、その時の世相を浮きぼりにして行くものはないと言う、それだけに、たった17文字に賭ける作者の気魄には圧倒されるものがある。

是非皆さんもお寄せ下さい。

寄稿先は、今野一笑(章)さんです。

市内九野本伊勢堂(TEL 8-2606)

までおまちしております。

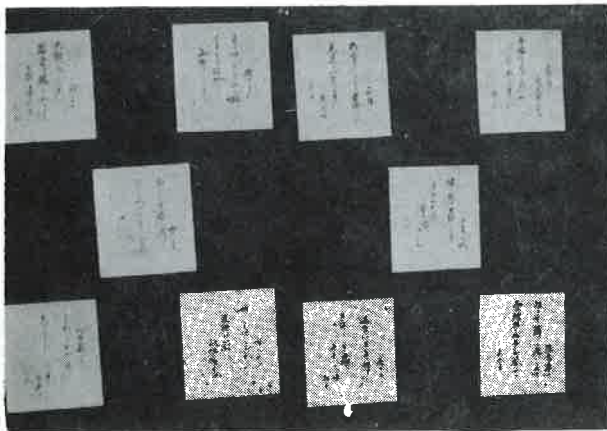


美しい家庭づくりは「短歌」から

婦人のための短歌会

11月27日 12月16日

1月26日 2月9日 3月26日



短歌とは、文字通り自分の眼の前に開けたものを瞬時のうちに31文字に託し、人々に深い?感動を与えてゆくというものなのだ。なぜ婦人だけの短歌会って? 父ちゃん、そりゃ言い分はわかるけどね。

母ちゃんが父ちゃんの事を詠み、父ちゃんが母ちゃんの事を詠んだら、どーなると思う? カテイは……。

母ちゃんに射止められたのも盆踊りの夜だった

平野地区盆踊り大会 8月17日

1年にたったの一度だけ先祖の御霊が現世に帰ると言う。ゆかたをさらりと着流した老若男女が夜の更けるのも忘れて踊りに狂ずる、素晴らしい事だと思う。来年も、再来年もずっと続けていただきたいと願う。

ただ、照明器具のあまりの発達で、会場が年々明るくなるのは……、うーむ いいことだ。



さわやか最終ランナー

平野地区民運動会 第30回記念分館訪問リレー 9月7日



30回と一口に言うけれど、スポーツに対する限りない情熱と、この運動会をこよなく愛する多数の関係者と、そしてなによりも平野地区民挙げてのスポーツに教育に、更に人と人との「和」に対する他に類を見ない情熱があったればこそ、と私は思う。

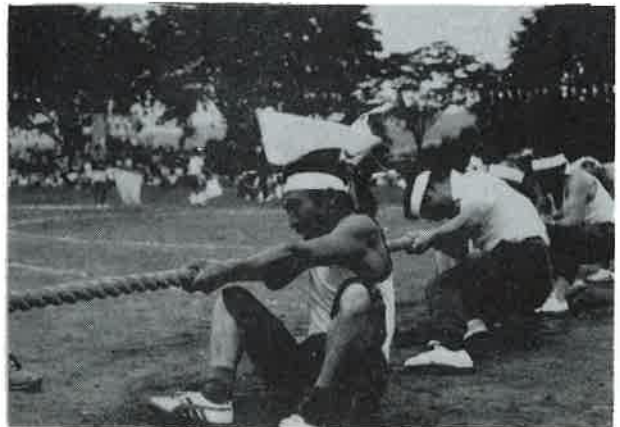
佐藤君(右)は何を考えているのだろうか？ ソレはヒミツ!!!

力のこもっている割合には縄が弛んでいる？

平野地区民運動会30回記念大会 9月7日

30回目というと、単的に言って今年30才の君が生まれた時に始まったのだ。長いぞ、思い出してもゾットする。アノ学校の試験50点取った時の、あの天下を取ったようなヨロコビ、思い当る人がいるだろう、エ？

勝つてよろこぶよりも、敗れたくやしさをこの次にぶつけるよう、きつといい結果がでる……ハズだ。



婦人部にはまいったなあーこの行動力



他地区にも目を向けよう

平野、豊田交換学習会 7月3日

市内在住の婦人会会員数ざっと3000人、もちろん、父ちゃんのいない部員も(ちょっとまずいかな?)いるけど、なんつったって戦前戦後の混乱期を一手に引き受けて今の日本を確立した立役者は、コノ人達なのだ。あらためて敬意を表するものであります。

おじいちゃん、おばあちゃん もっともっと長生きして

平野地区敬老会 11月2日

現在平野地区には70歳以上のお年寄りが約200名、もう公民館ではせまくなり今年は中学校を会場にして盛大に行なわれました。文字通り明治、大正、昭和の時代をもの見事に生き抜いてこられたおじいちゃん、おばあちゃん、これからももっともっと長生きして、若い人達に「生きるよろこび」を言い伝えて下さい。



掃いた後に残ったものは??

金井神を抜くか平野のほうき

平野地区ホーキ作りグループ 1月25日

世は挙げて省エネ時代、何もかもスイッチひとつで動く現代で何か1つ、何か1つ手とか足とか腰をつかってする事があってもいいじゃないか。何? 1つある? うーん、まあ そりゃ……ネ。

母ちゃんよ、出来ばえは気にする事ないよ。母ちゃんが掃いた後から嫁さんが電気掃除機でついてくるよ。ここから嫁と姑のタイワが生れる……筈なんですネー。



塩分をひかえて丈夫な身体をつくろう

栄養教室 6月14日



今、死亡率の高いのは、なんてたって癌と脳溢血。しかも東北地方で多いのは脳溢血。やはり昔から東北地方の人は働き者。汗をかく事によってほしいのが塩分、そんなこんなでどうしても塩分を多くとるようになったのではないだろうか？

父ちゃん、気いつけた方がいいよ。料理すんのは母ちゃんだ。ちょっと盛られるかも……。心配性でネ。

あったかぁーい着物で……を守ろう

せせらぎ学級 あみもの教室 12月7日・12日

高度成長、いわゆる「使い捨て」の時代は終わった。

自分の手で編み、そしてほぐし、又別のものを自分で編んでみる。素晴らしい事ではないか。ふんどしが姿を消し、ガラパンもブームが去った。次は何だと思う？ 毛糸のナニよ。厚くってカッコが悪い？ 冗談じゃネェ、種族を守るには、まず、守らねばならないものがある。その名は……!!!



伝統を守れ!!

平野地区少年教室 しめ飾りづくり 12月21日



時代は流れる。当り前の話だが、当り前の事がだんだん見失なわれつつある。特に伝統的な、特に農村にあった風習はほとんど見られなくなった。そんな中で、年の始めに自分の手造りのしめ飾りを玄関にかかげ、新しい年を迎えるなんてのは並の人間に出来る事じゃないよ。このしめ飾り造りに参加した生徒の家には今年必ずイイ事がある……かも知れない。

平野地区に独自のまちづくり協議会が発足

平野地区環境開発整備促進協議会

12月25日



今私達を取りまく環境は、自分達が考えている事とは遠くかけはなれたところで操作され、つくり出されているような気がします。同時に今、平野地区には手の届くところに学校統合問題や長井ダム建設の問題等があります。このような身近かな問題は、やはり地区民が一丸となって取り組み、よりよい方向を見い出していくべきではないでしょうか。地区民各位の絶大なる御助言御協力を切にお願いいたします。

多数の御意見ありがとうございました

第11回 平野地区新春放談会

1月18日

本会も11回を数え、いわゆる「訪談会」から一皮脱皮した放談会へと定着してきました。今年には特に上項の環境整備問題についてお話し合いいただきましたが、多数の方々から貴重な御意見が数多く寄せられました。

ただ残念な事は、若い人達の参加がもう一つという事です。何と言っても時は流れるのだから……。



新日鉄もまっ青 桜町チーム史上初の二連覇なる

第5回分館対抗バレーボール大会

2月22日

今、数あるスポーツの中で、男・女・年令を問わず最も気軽に、しかも多数の人で楽しめるのはバレーボールではないでしょうか。同時に、タマに関係のないスポーツは、ほとんどないといっても言い過ぎではない。大事にしくっちゃ……ネ。

桜町が強過ぎてダメだって？ 他のチームがあまりにも弱すぎるのダ。



八雲公民館長 梅津義一氏 3月1日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します。